

私が考える

「つみたてNISA」と「iDeCo」

の活用法

20代、会社員、独身のケース

「つみたてNISA」の活用法

- ① **月額1万円**の投資。
- ② 運用方針に**共感できるアクティブ投信**を購入。

- 現状の収支を踏まえ、**当初は少額から**開始。今後は所得やライフステージの変化に合わせて、**積立額は1年単位で見直す**。
- **投資の意義**を実感するためにも、自身の感性でファンドを選択したい。
- ゴールベースの考え方も取り入れ、“**使う楽しみ**”も考えておきたい。

「iDeCo」の活用法

- ① **月額2.3万円**の拠出。
※企業型DCのない第2号被保険者を想定。
- ② 世界経済成長の恩恵を期待できる、**先進国株式インデックス投信**
新興国株式インデックス投信を購入。

- 限度額**最大限まで**拠出を行い、**税制メリット**を享受する。
- 60歳以降の受取を見据えた**長期投資**であることから、時間を味方につけて**積極的にリスクをとった運用**を行う。
- 年齢の上昇や**ライフイベントの発生**に合わせて債券インデックス投信を組み合わせる等、**リスク管理**には留意したい。

30代、会社員、子供（4歳、1歳）のケース

「つみたてNISA」の活用法

- ① バランスファンドもしくは
- ② 信頼できる
アクティブファンドを
4年間40万円積み立て。

- NISA内ではリバランス（スイッチング）できないので、シンプルにファンド1本でお任せ。
- 年間収支はトントンだが、貯金はあるため一部を投信に徐々に移動する。
- 大学の学費が必要で解約するかもしれない＆信じて託したからには10年くらい解約したくないので、まずは4年後まで移動完了する。
- 現行NISA/特定口座を使って一括投資すべきかもしれないが、一括投資は勇気がいる、かつ、非課税メリット・課税強化に気を取られてホールドできないかもしれないので、つみたてNISAを使う。

「iDeCo」の活用法

- ① 月々23000円を、
 - ・預金：35%
 - ・国内株式：26%
 - ・先進国株式：31%
 - ・新興国株式：8%で積立、年次リバランス（スイッチング）。
- ② 55歳くらいで解約方針について検討する

- 自分なりのポートフォリオ作成にチャレンジ。
- リバランス（スイッチング）できるので、インデックス投信をばらばらに買う投資にチャレンジ。
- NISAよりハイリスクにする。
- 口座管理手数料率を下げるため、また、子どもの教育費より老後費を優先するため、優先して利用する。

30代、会社員、既婚のケース

「つみたてNISA」の活用法

【月々の投資額】
月額 2.5万円

【投資商品】

外国株式インデックスファンド

- 定年の**65歳まで**の約30年間で、3000万円を貯めることが目標。iDeCoの500万円を除いた**2,500万円をつみたてNISAで貯めるイメージ**
- 米国株のインデックスだと、年率平均約**6%のリターン**が期待できるので、**2,500万円から逆算して月額2.5万円の毎月投資**で目標達成できる。
- これまで**米国の経済**は底堅い成長を続けてきた。**今後も成長が期待**される。

「iDeCo」の活用法

【月々の拠出額】
月額 1.2万円

【投資商品】

元本確定型

- 限度額**最大限まで**拠出を行い、**所得税控除のメリット**を享受。
- 年利1%で、30年間で500万円をためることが可能という計算。
- **払い出し制限**があり、値下がり時に引き出せないなので、**リスク性商品への投資は避けたい**。

40代、会社員、4人家族のケース

「つみたてNISA」の活用法

- **先進国株式クラスと新興国株式クラス**の**低コストのインデックスファンド**を**1:1**で毎月自動積立で購入。
- 非課税枠は大きなメリット。**年間40万円**の枠はすべて使う方針。
- 妻は現時点で積立投資をしていないが、「つみたてNISA」はいい制度。**妻にも「つみたてNISA」の活用を促したい。**

■ 口座ごとでアセットアロケーションを組むのではなく、**非課税の恩恵を大きく生かすため、つみたてNISAに期待リターンの高い株式クラスに資産を割り振る**（アセット・ロケーション）。

■ 目標とする資産配分は、日本株式10%、先進国株式40%、新興国株式20%、先進国債券10%、日本債券20%。これを**つみたてNISA、iDeCo、特定口座**で割り振る。

「iDeCo」の活用法

- **先進国株式**クラスの**低コストのインデックスファンド**を**100%**で毎月自動積立で購入。

■ iDeCoも資産全体のなかの一部としてとらえて、**iDeCoには期待リターンの高い先進国株式クラスに割り振る。**

■ iDeCoの枠がもっと大きくなると嬉しい。